

# スポーツ ニュース

## 選挙や政治への 関心深める

～紫波二中で  
選挙啓発授業～

紫波第二中学校(田村敏実校長)で12月6日、明るい選挙啓発授業が行われました。県明るい選挙推進協議会(小水内邦子会長)と町明るい選挙推進協議会(山下研悦会長)が主催。3年生55人が、講師による授業や模擬投票を通じて選挙制度について学びました。高橋一輝さんは「模擬投票でしたが、学校内で行う選挙とは全く違う緊張感がありました。有権者となったときは選挙に行き、自分の考えに合った候補者を選びたいです」と意識を高めていました。



生徒たちは架空の選挙公報を読んだ上で、自分の考えに合った候補者に一票を投じました

## 明るい選挙啓発ポスターコンクールで2人が入賞

佳作



長岡小学校 6年 佐々川 楓加さん

【作品への思い】ポスターを見た人たちに「みんなの笑顔を守りたい」と思ってもらえるように描きました。

優秀賞



古館小学校 6年 高橋 のあさん

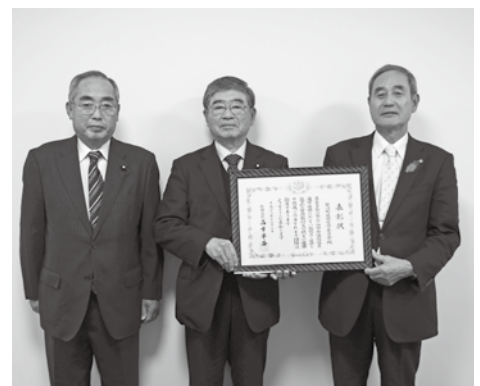
【作品への思い】たくさんの一票が集まればたくさんの笑顔が増えるということを伝えたいです。

「平成28年度岩手県明るい選挙啓発ポスターコンクール」で、応募総数1518点の中から、町内2人の作品が入賞しました。

## 選挙権年齢引き下げへの取り組みが評価

～町選挙管理委員会が総務大臣表彰を受賞～

町選挙管理委員会(生内正昭委員長)が第24回参議院議員通常選挙総務大臣表彰を受賞し、12月13日に役場会議室で伝達式が行われました。選挙権年齢引き下げに伴う若い世代への啓発として、投票立会人や投票事務アルバイトに公募の学生を起用、18歳～20歳の新有権者への啓発はがき送付、将来の有権者である紫波三中生4人による期日前投票所での職場体験学習を実施したことが評価されたもの。熊谷町長から賞状の伝達を受けた生内委員長は「これからは担う若い世代に、選挙や政治に対する関心を高めてもらうことをねらいとして事業を実施しました。取り組みの成果が実を結び、同選挙の18～19歳の投票率は県内で3位となり、全体の投票率も前回を上回る結果となりました」と成果を話し、同席した各関係者に感謝の言葉を伝えました。



熊谷町長から賞状の伝達を受けた生内正昭委員長(中央)と委員長職務代理者の伊藤時男さん(左)